【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年5月25日(2022.5.25)

【公開番号】特開2021-124933(P2021-124933A)
【公開日】令和3年8月30日(2021.8.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-040
【出願番号】特願2020-17613(P2020-17613)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　7/00(2017.01)
Ｇ０６Ｔ　7/60(2017.01)
Ｈ０１Ｌ 21/66(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　7/00　３５０Ｂ
Ｇ０６Ｔ　7/60　１５０Ｚ
Ｈ０１Ｌ 21/66　　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】令和4年5月17日(2022.5.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
構造画像の画像処理により、前記構造画像を実画像に類似させた画像を生成するシステムであって、
１以上の記憶装置と、
前記１以上の記憶装置に格納されているプログラムに従って動作する１以上のプロセッサと、を含み、
前記１以上のプロセッサは、
第１の構造画像と、前記第１の構造画像と異なる第２の構造画像と、を取得し、
前記第１の構造画像と前記第２の構造画像との間の中間構造を示す複数の中間構造画像を作成し、
前記複数の中間構造画像それぞれの画像処理により、前記複数の中間構造画像それぞれを実画像に類似させた画像を生成する、システム。
【請求項２】
請求項１に記載のシステムであって、
前記１以上のプロセッサは、参照画像に基づき、前記複数の中間構造画像それぞれを実画像に類似させた画像を生成する、システム。
【請求項３】
請求項１または２に記載のシステムであって、
前記第１の構造画像及び前記第２の構造画像のうち一方は、目標形状に対応する構造画像である、システム。
【請求項４】
請求項１または２に記載のシステムであって、
前記第１の構造画像及び前記第２の構造画像のうち一方は、取得済み実画像の内で最も目標形状に近い形状に対応する構造画像である、システム。
【請求項５】

請求項１または２に記載のシステムであって、
前記第１の構造画像は、取得済み実画像の内で最も目標形状に近い形状に対応する構造画像であり、
前記第２の構造画像は、目標形状に対応する構造画像である、システム。
【請求項６】
請求項１または２に記載のシステムであって、
前記１以上のプロセッサは、指定された対応関係に従って前記第１の構造画像から前記第２の構造画像へ構造画像を変化させることによって、前記複数の中間構造画像を生成する、システム。
【請求項７】
請求項１または２に記載のシステムであって、
前記１以上のプロセッサは、
前記複数の中間構造画像と、前記複数の中間構造画像それぞれを実画像に類似させた画像と、を含むデータベースを構築し、
前記データベースを用いて、入力された実画像から構造画像を出力する構造取得モデルを構築し、
前記構造取得モデルを用いて、新たな実画像から新たな構造画像を生成する、システム。
【請求項８】
請求項７に記載のシステムであって、
前記１以上のプロセッサは、所定の特徴寸法を抽出する寸法抽出モデルを用いて、前記新たな構造画像における前記特徴寸法を計測する、システム。
【請求項９】
請求項８に記載のシステムであって、
前記１以上のプロセッサは、
計測された前記特徴寸法、前記新たな構造画像、前記新たな実画像、及び前記新たな実画像が取得された試料を処理した装置条件を含むデータベースを用いて、入力された装置条件に対応した構造画像を出力する学習モデルを構築し、
前記学習モデルを用いて、目標形状を実現する装置条件を推定する、システム。
【請求項１０】
システムが、構造画像の画像処理により前記構造画像を実画像に類似させた画像を生成する方法であって、
前記システムが、第１の構造画像と、前記第１の構造画像と異なる第２の構造画像と、を取得し、
前記システムが、前記第１の構造画像と前記第２の構造画像との間の中間構造を示す複数の中間構造画像を作成し、
前記システムが、前記複数の中間構造画像それぞれの画像処理により、前記複数の中間構造画像それぞれを実画像に類似させた画像を生成する、方法。